

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 長良高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月25日(火) 14:00~15:30
- 3 開催場所 長良高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	渡辺 玲	元PTA会長
副会長	三井 栄	岐阜大学社会システム経営学環 教授
委員	有田 誠二	本校39期同窓生
	安藤 剛	本校同窓会副会長
	梅村今日子	令和4年度 本校PTA3年学年委員長 (欠席)
	平岩 徹	岐阜市立東長良中学校長
	福島 明美	本校40期同窓生
	増田 勝美	長良東自治会連合会会長
	山本 徳恵	令和4年度 本校PTA2年学年委員長
学校側	大坪一才恵	校長
	川瀬 隆	教頭
	辻 昌宏	教頭
	尾関 香織	教務副主任
	富田 充弘	進路指導主事
	美濃島広幸	生徒指導主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業参観について

意見1: 授業のレベルが高い。

意見2: 高校の授業は、大人の世界を感じた。本校の活動をもっとPRしていく仕組みを考えてほしい。

意見3: 生徒へ次々と言葉を掛けており、お互いにコミュニケーションが取れる良い授業。コロナ禍でマスクをしているが、目と目を合わせ話し合う姿に、コミュニケーション能力が高められていることを感じた。

意見4: 講義型の一方的な授業ではなく、自分から学ぼうとする姿勢が多く見られた。先生方の工夫と、生徒の学びの積み上げが本日の授業につながっている。

意見5: 小中学校で話し合う授業が主流となっているが、高校へのつながりを感じた。

意見6: 生徒の人数が多く、荷物も大きくなっているため、教室が狭く感じた。英語は、生徒の会話が長く、話す訓練となっている。

意見7：学習の進度が、楽しさと学力向上を上手く組み合わせられていた。コミュニケーション能力に加え、文書化する能力も大切。文書で表現することも必要。

(2) 令和4年度岐阜県立長良高等学校 生徒・保護者等を対象とするアンケート結果について

意見1：アンケートでは、「あてはまらない」より「わからない」の方が問題。「わからない」の割合が多い項目は、周知・PRが足りないので、保護者間の連携など対策を取るべきである。

意見2：教員の働き方改革に対する本校の対応はどうしているか。

⇒ 職員会議のオンライン化・ペーパーレス化、業務支援員の活用、管理当番の廃止などを導入し、風通しの良い働きやすい環境作りを目指している。

(3) 令和4年度の活動について

意見1：修学旅行が順調に終わり良かった。

意見2：コロナ禍により体育祭が縮小されているが、応援団を本来の姿に戻してほしい。

意見3：3年ぶりに長良祭が開催され良かった。応援団のやり方が先輩から引き継がれてないのならば、同窓会から教えに行くこともできる。

意見4：フィールドワークは大学もやっている。大学と協力して発表することも検討したらどうか。

(4) 生徒の校則改訂について

(5) その他

意見1：校外でも、校内で生徒から挨拶をされ、感じの良い対応。高校生の姿を地元の小中学校生が見ており、良い見本になっている。

意見2：小中学校は地域に根付いた学校をしており、広範囲から通っている高校とは違うが、長良地区にある学校として、一緒に地元を良くしてほしい。

意見3：自転車に対する条例が改正されたが、本校ではどの様な対応をしているか。

⇒ 周知をし、啓発活動を行っているが、ヘルメットは努力義務であり、強制が難しい。呼びかけを継続することが大切。

6 会議のまとめ

- ・本校の授業に対しては、概ね良い評価であった。
- ・学校アンケートの「わからない」割合が多い項目について、周知・PRに努める。
- ・コロナ禍で中止となっていた行事について、今後の開催のあり方の検討を継続する。
- ・地域や大学等との更なる連携について検討する。